



特別展「埋もれた楽器たち～古代への音浪漫～」始まる！



8月1日(水)より夏の特別展「埋もれた楽器たち～古代への音浪漫～」が始まりました。この展覧会は、日本の1500～2000年前、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡から発掘された楽器のうち、琴を中心にして、銅鐸や鈴、埴輪、約50点を展示し、古代の人々が奏でたであろう音や音楽の文化に思いを馳せようというものです。

浜松市をはじめ静岡県の弥生時代や古墳時代の遺跡からは、楽器の琴が数多く出土しています。日本で最初に琴が出土したのは有名な静岡市の登呂遺跡。登呂遺跡の琴は登呂博物館の特別展のため当館では展示できませんでしたが、静岡市小黒遺跡の琴、浜松市恒武遺跡、角江遺跡などの琴、滋賀県守山市の服部遺跡、高島市の森浜遺跡の琴など、関西と東海地方を代表する出土琴がそろいました。

祭祀具として有名な弥生時代の銅鐸は浜松市天満平穴の谷遺跡の銅鐸(市指定文化財)や袋井市向山遺跡の小銅鐸、三島市青木ヶ原遺跡の赤く輝く小型銅鐸など5点。

磐田市明ヶ島古墳で出土した土製のミニチュアの琴や人物、動物からは、古代人の遊び心が伝わってきます。

古墳時代には、琴を奏でる人物埴輪がたくさん作られました。今回その中の代表作である埼玉県埼玉古墳瓦塚古墳、伝同県川本町舟山古墳、神奈川県横須賀市蓼原古墳の埴輪男子埴輪3点がそろって展示されているのも見所です。

また昨年秋に浜松市都田町郷ヶ平古墳で発掘された大型の馬形埴輪と弹琴人物埴輪の琴部分も初公開されています。馬に飾りつけられた鈴や琴の胴体もはっきりとわかります。琴の埴輪は浜松では初めての出土で、この展覧会を待っていたかのようなタイミングでした。6日夜には市文化財課鈴木一有さんによる説明会も開催されました。

このあと18日には復元古代琴のレクチャーコンサート、19日には音楽考古学の現状を紹介するフォーラムも開かれます。この展覧会は9月2日(日)まで。是非にしえの人々の音浪漫を感じてみてください。



郷ヶ平古墳出土弹琴人物埴輪の琴



静岡市大黒遺跡出土琴



6日(月)に行われた郷ヶ平古墳出土埴輪説明会

レクチャーコンサート No. 131 「諸行無常 盛者必衰 平家琵琶を聴く、語る」



日時：平成 24 年 6 月 17 日（日） 14:00 ～ 16:00
会場：アクトシティ 音楽工房ホール
出演：鈴木まどか、古川久美子
入場者：205 人

「平家物語」は、平清盛を中心とする平家の栄華と没落を描いた軍記文学の最高峰です。その語り本は、琵琶法師によって琵琶を弾きながら語られ、それを「平曲」と呼びます。平家琵琶は「平家物語」の一部始終を「語る」ために、13 世紀に成立しました。伝承責任者は盲人最高位の検校で、寺社の修復費用を募る「勧進平家」や、徳川幕府の法要「法華頓写」の式楽で語っていました。茶人や歌人も教養として学んでいたそうです。

コンサートでは前田流平家詞曲相伝者の鈴木まどかさんをお迎えし、巻之四「鶴」、巻之七「一門都落」、巻之九「宇治川」、巻之十「海道下」、祝儀「上日」の全五曲を語っていただきました。同じく相伝者の古川久美子さんも入っていただき「連平家」という二人での語りも披露していただきました。一曲一曲の語り、楽器について詳しい説明もあり、休憩時にはお客様が鈴木さん、古川さんに質問をしたり楽器に触れてもらうなど、みなさん平家琵琶のとりこになっている様子でした。最後の祝儀「上日」は、会場全員で平家琵琶を語り、コンサートは幕を閉じました。

レクチャーコンサート No. 132 「フンフルトゥ～南シベリア、トゥバ共和国の驚異の喉歌と楽器たち～」

ユーラシア大陸のほぼ中央に位置するトゥバ共和国は森、湖、山、草原、そして砂漠という自然豊かな国です。この国の音楽で有名なのは「フーメイ」と呼ばれる喉歌です。フーメイとは一人で同時に2つの声を出す歌い方で、例えばモンゴルのホーミーが有名です。プログラムでは「異郷にて」という故郷に帰れなくなってしまった男性の歌や「チャウラー・ホール」という馬との思い出の歌が歌われました。イギルという柔らかな音色がする弓奏楽器や、デミル・ホムスという口琴などが演奏され、中には馬の蹄を2つ使い、カスタネットのように叩き合わせて、馬の走る音を表現する楽器も登場しました。

解説はトゥバ共和国の音楽や文化研究の第一人者の等々力政彦さん。「世界的音楽グループ《フンフルトゥ》を13年ぶりに迎え、様々な楽器とともにトゥバ共和国の音楽を紹介できて大変嬉しい」と話されていました。別世界に引き込まれるような魅力的な音楽を楽しみました。



日時：平成 24 年 6 月 27 日（水） 19:00 ～ 21:00
会場：楽器博物館天空ホール
出演：フンフルトゥ 解説：等々力政彦
入場者：136 人

レクチャーコンサート No. 133 「ロマンス～ブラームスとシューマンに聴く～」



日時：平成 24 年 7 月 7 日（土） 14:00 ～ 16:00
会場：アクトシティ 音楽工房ホール
出演：七條恵子（フォルテピアノ）、山口幸恵（ヴァイオリン）
入場者：90 人

当館所蔵のグロトリアン-シュタインヴェヒ製（1885～90年 ブラウエンシュヴァイク / ドイツ）のピアノを使い、ブラームスとシューマン夫妻の作品を楽しんでいただきました。ブラームスとシューマン夫妻との親密な関係は、シューマンの妻クララが亡くなるまで続きます。音楽家同士の友情や信頼関係は彼らの音楽に深く影響したに違いありません。解説では実際に曲の一部を演奏しながらわかりやすく説明していただきました。曲目はロベルト・シューマン作曲「ヴァイオリンソナタ 第1番 イ短調 作品105」クララ・シューマン作曲「ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品22」ヨハネス・ブラームス作曲「ヴァイオリンソナタ 第3番 ニ短調 作品108」などが演奏されました。包容力のあるピアノの音色とヴァイオリンの優しいメロディーに心惹かれる時間となりました。

レクチャーコンサート No. 134 「ベートーヴェン、チェロソナタ I」

ベートーヴェンのチェロとピアノのための全作品を 2 回に分けて演奏する今回の企画。第 1 回目は 1796 年に書かれた初期の作品を当時のフォルテピアノとチェロで演奏しました。使用したピアノは、楽器博物館所蔵の 1810 年に製作されたウィーンの名工 A. ワルター&サンズのフォルテピアノ。ワルター製作のフォルテピアノは、ベートーヴェンも愛奏したことでその名が知られていますが、音色の美しさとニュアンスの豊かさ、ダイナミックな音響は卓越した素晴らしさがあります。ピアノ奏者の小倉貴久子さんは、3 つのペダルを駆使して様々な響きを作り出し、チェロ奏者の花崎薫さんの音色ととてもよく調和していました。曲目はチェロソナタ第 1 番と第 2 番、ヘンデルの《ユダス・マカベウス》の変奏曲とモーツァルトの《魔笛》の変奏曲の全 4 曲。フォルテピアノとチェロが織り成す情熱的な演奏は、観客を若きベートーヴェンの活力みなぎる音楽世界へと導きました。



日時：平成 24 年 7 月 16 日（月） 19:00 ~ 21:00
会場：楽器博物館天空ホール
出演：花崎薫（チェロ）、小倉貴久子（フォルテピアノ）
入場者：100 人

イブニングサロンコンサート 「東北のころ～津軽の三味線と唄～」



日時：平成 24 年 6 月 30 日（土） 18:30 ~ 19:30
会場：楽器博物館天空ホール
出演：嶋田あやか&タオ（秋保里衣、奥崎菜々夏、富田晃）
入場者：132 人

三味線は日本を代表する弦楽器の 1 つです。その三味線にはさまざまな種類がありますが、今回は青森県津軽地方に伝わる「津軽三味線」をとりあげました。演奏は嶋田あやかさん&タオ（秋保里衣、奥崎菜々夏、富田晃）の皆さんです。演奏会は、津軽民謡の三大節の 1 つといわれる「津軽じょんから節」から始まりました。他にも「りんご節」や「津軽あいや節」などの伝統曲や、湯沢健太郎作曲「地吹雪」、多田あつし作曲「津軽の四季」などの現代に作られた曲も披露されました。嶋田さんのハリのある元気な歌声と、三味線からはじき出される明るい音色は見事にマッチします。演奏中は時にはお客様も口ずさんだり、手拍子をしたりと楽しい時間を過ごしました。また、この演奏会は昨年に行った東日本大震災の「復興支援義援金協力コンサート」でしたので、14,614 円の義援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

ミュージアムサロン

「バンドネオン&ギター」「チェロ&ピアノ」

7 月の連休は、展示室で入館者を対象にしたミニコンサートを開催しました。15 日（日）は、「バンドネオンとギター」。バンドネオンは、たくさんのボタンがあり蛇腹を押し引きしながらボタンを押して鳴らす楽器です。バンドネオンの哀愁漂う音色と優しく奏でるギターの相性は大変良く、美しいアンサンブルを楽しみました。

6 日（月）は、「チェロとピアノ」。高校時代から一緒に演奏をしているお 2 人の息はピッタリで、エルガーの「愛の挨拶」やアニメの曲などおなじみのメロディーを楽しく演奏してくださいました。

「バンドネオン&ギター」 日時：平成 24 年 7 月 15 日（日）
14:00 15:30（各 30 分） 会場：楽器博物館天空ホール
出演：川波幸恵（バンドネオン）、山口亮志（ギター） 入場者：180 人

「チェロ&ピアノ」 日時：平成 24 年 7 月 16 日（月）
11:30 13:30（各 30 分） 会場：楽器博物館天空ホール
出演：立川訓子（チェロ）、萩田なずな（ピアノ） 入場者：187 人



楽器博物館コレクション CD 新発売

シューベルトの即興曲とヴァイオリン・ソナタを、当館所蔵の伝アンドレアス・シュトライヒャー（1815年頃 / ウィーン）のフォルテピアノにより収録したCDです。演奏はかつて当館のイヴニングサロンコンサートでの熱演により聴衆を酔わせた七條恵子さんと、七條さんの盟友としてデュオで活躍するヴァイオリニスト山口幸恵さん。シューベルトの詩的かつ幻想的な心象風景が美しく見事に描き出されています。収録曲：4つの即興曲第1集 D899 op.90、4つの即興曲第2集 D935 op.posth.142より 第3番 変ロ長調 他



レコード芸術準特選 CD ジャーナル推薦

これからの催し物

ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- 特別展
「埋もれた楽器たち～古代への音浪漫～」
8/1(水)～9/2(日)
- 特別展フォーラム
「古代への音浪漫・人は何を奏で、聴き、祈っていたのだろう」
8/19(日) 13:00～16:00 音楽工房ホール
パネラー：山田光洋、中川律子、竹内直文、遼安、嶋和彦
- レクチャーコンサート
「伝統のアフリカ～吟遊詩人グリオと弦楽器コラ～」
8/7(火) 19:00 天空ホール
出演：エピツ・バンゲーラ、ユスフ・クンバッサ
「古代への道～琴と箏の時空トラベル～」
8/18(土) 14:00 音楽工房ホール
出演：遼安、遼安緋由、遼安黄佑
「北インド夢幻・サロードの音宇宙」
8/24(金) 19:00 天空ホール
出演：アビセック・ラヒリ、パルタ・サラティ・マルケジー
「ベートーヴェン・チェロソナタ(全曲)パートII」
8/30(木) 19:00 天空ホール
出演：花崎薫、小倉貴久子
- イヴニングサロン
「夏の夜の幻影～ジャワ王宮舞踊と古典詩への招待～」
8/17(金) 19:00 出演：西岡美緒、佐々木宏実、ローフィット・イブラヒム
「弦楽八重奏」
8/27(金) 19:00 出演：アンサンブル・ムジーク弦楽合唱団
「君偲ぶ夜～アルパの想い～」
9/8(土) 18:30 出演：岩佐しおり
いずれも天空ホール
- サロンコンサート
「電子チェンバロとクラシックオルガンの集い」
8/25(土) 13:00～18:00
ゲスト：中野振一郎(チェンバロ)、公月愛子(電子チェンバロ)、鈴木泉(オルガン)
- 楽器体験ワークショップ
「南米のハーブアルパをひこう！」
9/9(日) 10:00～12:00 講師：岩佐しおり
アクトシティ研修交流センター
- ミュージアムサロン 14:00&15:30(天空ホール)
8/1(水) 「ヴァイオリン」 出演：当館職員
8/2(木) 「デュオピアノ」 出演：当館職員
8/5(日) 「サクソフォンアンサンブル」
出演：浜松サクソフォンクラブ
8/8(水) 「デュオピアノ」 出演：当館職員
8/10(金) 「チター」 出演：打越島三
8/11(土) 「バンジョー」 出演：小寺拓実
(第6回バンジョープレイヤーコンテスト優勝者)
8/12(日) 「アルパ&ギター」 出演：長島忠之、パブロ・テロネス
8/13(月) 「セルパン」 出演：橋本晋哉、矢野薫
8/14(火) 「アイリッシュハーブ」 出演：寺本圭祐
8/16(木) 「ブルーグラスバンド」 出演：カントリーフロンティア
8/17(金) 「縄文と弥生の土笛」 出演：縄文笛 毅
8/20(月) 「アングルン」 出演：当館職員
8/28(火) 「グラスハーブ」 出演：当館職員
8/29(水) 「フルートアンサンブル」 出演：当館職員
9/16(日) 「オカリナ」(13:15&14:45) 出演：えんじろう
「金管アンサンブル」 出演：浜松プラスアンサンブル
9/22(日) 「金管アンサンブル」 出演：東郷源 ほか

博物館日誌

- 6/17(日) レクチャーコンサート 「諸行無常 盛者必衰～平家琵琶を聴く・語る～」 14:00 (音楽工房ホール)
出演：鈴木まどか、古川久美子 入場者:205人
- 6/19(火)～20(水) 移動楽器博物館 浜松市立元城小学校
- 6/27(水) レクチャーコンサート 「フンフルトゥ～南シベリア、トウバ共和国の驚異の喉歌と楽器たち～」
19:00 (音楽工房ホール) 出演：フンフルトゥ
(トウバ共和国4人編成) 等々力政彦 入場者:136人
- 6/28(木)～29(金)、7/3(火)～7/4(水)
移動楽器博物館 浜松市立気賀小学校
- 6/30(土) イヴニングサロン 「東北のこころ～津軽の三味線と唄～」
18:30 (天空ホール) 出演：嶋田あやか&タオ
入場者:132人
- 7/1(日) 市制記念日 無料入館日 入場者:609人
- 7/7(土) レクチャーコンサート 「ロマンス～ブラームスとシューマンに聴く～」 14:00 (音楽工房ホール)
出演：七條恵子、山口幸恵 入場者:90人
- 7/15(日) ミュージアムサロン 「バンドネオン&ギター」
14:00、15:30 (天空ホール)
出演：川波幸恵、山口亮志 入場者:180人
- 7/16(月) ミュージアムサロン 「チェロ&ピアノ」
11:30、13:30 (天空ホール)
出演：立川訓子、萩田なずな 入場者:187人
- 7/16(月) レクチャーコンサート 「ベートーヴェン、チェロソナタ(全曲)パートI」 19:00 (天空ホール)
出演：花崎薫、小倉貴久子 入場者:100人

浜松市楽器博物館だより

平成24年8月10日発行 No.71 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp URL <http://www.gakkihaku.jp/>